



相模原中ロータリークラブのご案内

■ロータリークラブとは

- ・1905年アメリカで創始された国際的奉仕団体です。
- ・全世界200以上の国と地域に、36,769クラブあり、1,166,174人の会員がいます。(2024年1月17日公式発表)
- ・日本のロータリークラブは1920年10月に、当時の三井銀行の重役であった米山梅吉氏が初めて東京ロータリークラブを創立し、翌1921年4月、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。

■相模原中ロータリークラブとは

創 立：1977年6月7日

所 属：2780地区（横浜、川崎を除く神奈川県内）

事業年度：毎年7月1日～翌年6月30日

会員数：27名（2024年3月現在）

事務所：〒252-0239 神奈川県相模原市中央区中央3-12-3 相模原商工会館3F

TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605

E-mail：rotary@tbg.t-com.ne.jp <http://sagamiharanaka-rc.jp/>

■相模原中ロータリークラブの活動

例 会：毎週火曜日 12:30～13:30（*昼食の用意あり）

例 会 場：中国名采「敦煌（トンコウ）」

〒252-0231 相模原市中央区相模原2-13-1

移動例会：年に数回あり。姉妹クラブ（長野県・千曲川RC）訪問や、年末家族例会などの親睦例会や、または地区行事による大会や研修会など。

奉仕活動：委員会組織で年間の活動方針を計画、実施

- ・社会奉仕事業例：橋本公園の桜植樹、セラピー犬による高齢者・障害者施設支援など
- ・青少年奉仕事業例：相模原市少年野球「相模原中RC優勝旗争奪大会」協賛など
- ・国際奉仕事業例：災害支援、留学生の派遣・受入れ、台湾、韓国の友好クラブ交流など

例会出席：所属クラブへ毎週1回の例会の出席が望ましいが、他クラブ（日本全国及び海外も可）例会に出席し、それを当クラブ出席に充当することができる。（メーキャップ制度）

年 会 費：240,000円（1月、7月の年2回分納 各120,000円）

※途中入会の場合は月割にて

※別途、家族例会や夜間例会（懇親会）の時は会費が必要

入会金：ありません

<ロータリー概要>

■ロータリーとはどんなクラブ？

一言でいえば奉仕クラブ組織で、自分の職業を通じて奉仕することに主眼がおかれています。「ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、且つ、世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」と定義されています。難しそうですが、実際は会員同士の親睦を深め、自己啓発を進めながら、自分の職業を活かして、地域社会や世界に奉仕していくことを目指しています。

■ロータリーの発祥と現在の規模

1905年、シカゴでポール・ハリスという青年弁護士が3人の仲間と共に、「実業人が友愛の気持ちを持って親しみ合い、仕事の上の知り合いの輪を広げていくために、定期的集まる会をつくる」というアイデアからロータリーが誕生しました。

日本では各都道府県に2, 205クラブあり、83, 723人（2023年12月末現在）のロータリアンが活動しています。

■ロータリーではどのような活動を？

5つの奉仕活動が中心です。

○クラブ奉仕

自クラブ運営に係る奉仕活動。会員相互の友情と親睦を深める役割もあります。

○職業奉仕

職業活動を通じ、ロータリーの理想の模範を示し、その理想を分かち合うことを目的とする。

○社会奉仕

地域社会の中でのニーズに対して、適切な奉仕活動を行います。

○国際奉仕

世界平和と各国間の理解のため、青少年留学生の派遣と受入や、災害支援等の世界的社会奉仕活動、ポリオ撲滅のためワクチン、医師提供の寄付活動など。

○青少年奉仕

未来を託す次代の担い手として青少年に積極的な役割を期待し、より良き未来のために将来への準備をさせることなど。

※例会と卓話

ロータリークラブは通常、毎週一回例会を開催します。その例会では、クラブの活動報告や連絡事項の伝達がありますが、その後半に「卓話」として、会員や有識者による20～30分程度の講演があります。この卓話はロータリー最大の特徴であり、有意義な話です。

この他にも、クラブ協議会（各委員会の活動報告）、クラブフォーラム（奉仕活動のついで意見交換）などの例会プログラムが、年数回実施されます。